

# 多文化社会コーディネーター基礎研修 2022

## 多文化社会の課題解決に向けて

日本社会の多文化化が進展するに伴い、さまざまな問題が見られるようになっていきます。それらの問題は多岐の分野にわたり複雑に絡み合っていることから、問題解決には多様な人びとや組織の連携・協働が不可欠であり、またそのような連携・協働を推進する役割を担う専門人材が求められています。

そこで、多文化社会専門職機構では「多文化社会コーディネーター」を「あらゆる組織において、多様な人々との対話、共感、実践を引き出しつつ、「参加」→「協働」→「創造」の問題解決へのプロセスをデザインしながら、言語・文化の違いを超えてすべての人が共に生きることのできる社会に向けて、プログラム（活動）を構築・展開・推進する専門職」と定義し、認定事業を通じて多文化社会の問題解決に貢献できる人びとを輩出することに取り組んでいるところです。

今年度、多文化化するさまざまな現場で働く実践者（実務家）を対象に、コーディネーターとしての力量形成を図るためのプログラムとして「多文化社会コーディネーター基礎研修」を実施します。これまで多文化社会コーディネーターの実践研究に携わってきた当機構のメンバーと共に自らの実践を振り返り、コーディネーターとしての専門性を高めたいと考える方々のご応募をお待ちしています。



主催：一般社団法人 多文化社会専門職機構（TaSSK）

- 目的：
  - ・自治体、国際交流協会、NGO、日本語教室、学校教育・社会教育、企業などの現場で多文化社会の問題解決に携わるスタッフを対象に、多文化社会コーディネーターとしての専門的役割について学ぶ機会を提供します。
  - ・本研修の実施を通じて、多文化社会コーディネーターとしての専門的役割を担う人材のすそ野を広げるとともに、その社会的認知の向上を図ります。
- 対象：
  - ・自治体、国際交流協会、NGO、日本語教室、学校教育・社会教育、企業などで多文化に関する業務や活動に取り組む組織の中堅スタッフ。
  - ・2日間全ての日程に参加できる方。
- 日時： 2022年8月21日（日）・8月22日（月）のそれぞれ10：00-17：00（2日間）
- 実施方法： オンライン
- 定員： 25名  
※最小実施人数12名
- 参加費： 8,000円（会員）、12,000円（一般）
- 申込方法：
  - 応募書類  
下記の2つの様式を提出ください。書類選考のうえ受講者を決定します。  
応募締め切りは 2022年8月12日（金） です。
    - ・申込書（様式1）
    - ・プログラムの構築・展開に関する実践報告（様式2）
  - 応募書類送付先（WordファイルをEmailで送付ください）  
一般社団法人 多文化社会専門職機構（TaSSK） 事務局  
Email：office@tassk.org

○ 日程：

1日目 2022年8月21日（日）

10:00-11:20 (80分間)	11:30-12:30 (60分間)	13:30-14:30 (60分間)	14:40-15:30 (50分間)	15:40-16:30 (50分間)	16:30-17:00 (30分間)
オリエンテーション・自己紹介	講義「多文化社会における文化とは」	講義「多文化社会コーディネーターとは」	ラウンドテーブル①	ラウンドテーブル②	1日目振り返り

2日目 2022年8月22日（月）

10:00-11:30 (90 分間)	11:40-12:30 (50 分間)	13:30-14:20 (50 分間)	14:30-15:20 (50 分間)	15:30-17:00 (90 分間)
鼎談「コーディネーターの役割」	ラウンドテーブル③	ラウンドテーブル④	ラウンドテーブル⑤	2日間振り返り

### ラウンドテーブルの進め方

参加者には「プログラムの構築・展開に関する実践報告（申込書類 様式2）」をベースにご自身のこれまでの実践について20分間程度、語っていただきます。その上で参加者・ファシリテーターと語り合い、協働で実践の省察（振り返り）を行います。

### ○ 講師・ファシリテーター（予定）

#### 菊池哲佳

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。仙台観光国際協会勤務。日本ボランティアコーディネーター協会理事など。

これまで主に外国人相談事業、外国につながる子ども支援事業、防災事業などを通じて多文化共生の地域づくり取り組んできました。全国各地でコーディネーターとして活動する方々とそれぞれの実践を振り返りつつ、多文化社会についてあらためて考えることを楽しみにしています。

#### 小山紳一郎

Social Inclusion Design Lab. 代表のほか、明治大学大学院兼任講師、湘南医療大学大学院兼任講師、亜細亜大学非常勤講師、（特非）NPO サポートちがさきコーディネーターなど。

（公財）かながわ国際交流財団勤務時代には、多文化ソーシャルワーク実践者養成プログラムの開発や多言語情報流通に関する調査研究などに携わる。現在は、演劇的手法を使った多文化教育に関心を寄せる。多文化社会のソーシャルデザインについて参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

#### 高柳香代

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。多文化 design コンパス代表、移住労働者と共に生きるネットワーク・九州共同代表。

市民活動の立場での九州での相談事業、地域日本語教育、多文化共生の人材育成等の活動を通して、多様な人々との地域づくりに取り組んでいます。この研修で参加者の皆さんと共に地域の多文化化とまちづくりについて考えることを楽しみにしています。

#### 長尾晴香

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。一般社団法人 ViVarsity 代表。2010年より外国人向けセミナーや地域住民との交流の場づくり、日本語教育事業のコーディネーターを担当。企業向けに多文化共生事業を展開するため2019年に株式会社 link design lab を設立。文化庁「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を受託し、就労分野における多文化共生の人材育成も行っている。

#### 中野玲子

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。日本語みらいラボ（深川）代表の他、すみだ日本語教育支援の会理事、中央大学兼任講師など。

Well-being で楽しい多文化をモットーに東京都墨田区と江東区で多文化活動に取り組んでいます。全ての住民に

とっての Well-being な地域創りについて、みなさんと一緒に楽しく考えていきたいと思います。

#### 野山広

国立国語研究所准教授。文化庁の専門職（日本語教育調査官）を経て、2004年から現在の職場に勤務。その他、（一社）多文化社会専門職機構理事、国際活動市民中心（CINGA）理事、基礎教育保障学会理事、江戸川総合人生大学地域デザイン学部国際コミュニティ学科長など。編著書は『外国人住民への言語サービスー地域社会・自治体は多言語社会をどう迎えるか』（2007）ほか。基礎教育を保障し、共に育むことができるような共生社会の構築に向けて何ができるのか、皆さんと情報・意見交換や対話（価値観の擦り合わせ等）ができれば幸いです。

#### 松尾慎

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。東京女子大学現代教養学部教授。専門は、日本語教育、多元文化教育など。ブラジル、インドネシア、台湾で日本語教育に携わり、2009年より現在の職場に勤務。2014年6月に難民当事者とともに難民の日本語教室・活動（Villa Education Center）を立ち上げ、毎週日曜日、大学院生や修了生、学部生とともに活動を継続しています。先日346回目を達成しました。趣味は自転車、日本各地を訪れています。皆さんの町でお会いできるかもしれません。

#### 松岡真理恵

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。公益財団法人浜松国際交流協会勤務。外国人相談、外国にルーツを持つ若者のエンパワメント、自治会活動における地域共生支援、国際理解教育等を含め、様々な事業に関わってきました。1995年～2001年は豊田市国際交流協会にも勤務し、保見団地を始め豊田市内の多文化共生活動に関わりました。国際交流協会のあり方、協会職員の人材育成にも関心を持っています。

#### 萬浪絵理

多文化社会コーディネーター（多文化社会専門職機構認定）。地域日本語教育コーディネーターとして、NPO法人国際活動市民中心（CINGA）や千葉市国際交流協会等にて地域日本語教育の体制づくりに関する事業を担当しています。

研究テーマは、相互理解と日本語習得が両立する市民参加の学習活動。どのような日本語教育（学習支援）が多文化共生につながるのか、皆さんと一緒に考えます。

#### 山西優二

早稲田大学文学学術院教授、日本国際理解教育学会理事、多文化社会専門職機構副代表理事、かながわ開発教育センター代表理事、逗子市社会福祉協議会福祉教育チーム委員など。

専門は国際教育論、開発教育論、共生社会論。地域、風土、アート、ことば、お茶、社会問題などの多様な切り口から、多様な学びと共生・平和の文化をつくり出したいと思っています。

#### ○ 多文化社会専門職機構（TaSSK）について

日本社会の多文化化の進展に伴い、教育、法律、医療、行政などのさまざまな分野で既存の方法や仕組みでは解決が難しい、新たな問題が生じています。多文化社会専門職機構は2017年2月に設立後、さまざまな分野で多文化社会の問題解決に取り組む人々に学びとネットワーク形成の場を提供するとともに、「多文化社会コーディネーター」、「相談通訳者」という2つの専門職の認定事業を通じ、多文化共生社会の実現に取り組んでいます。

---

お問合せ・応募先： 一般社団法人 多文化社会専門職機構（TaSSK） 事務局

Tel : (03) 6261-6225 / Email : office@tassk.org

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター6F